

新年のごあいさつ

登別市議会議員
石山正志



新年あけましておめでとうございます。
市民の皆さまには、お健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

旧年中は、議会活動に対し特段のご理解とご協力を賜り、衷心より御礼申し上げる次第であります。

昨年後半、米国に端を発した金融危機は、瞬く間に世界中へ広がりました。日本も株価暴落や引続く景気低迷で、雇用不安などの影響を受けており、先行き不透明な新年ともいえます。また、登別市では交付税などの減少などで厳しい財政運営が続いていますが、今後いっそうの税収落込みも懸念されます。さらには、少子高齢社会は確実に進行しており、それに伴う行政課題は当市にも山積しています。

こうした中、私ども市議会では、行財政課題に対する常任委員会の調査・チェック体制の強化、市民の意見を聞く機会を増やすなど、諸課題解決に向けた『市民と協働する議会』を目指して今年も取り組んでいきます。

また、6月には市民との『議会フォーラム』を開催します。今後具体的なテーマ設定などの準備に入りますが、本年も市民の皆さまのご支援・ご協力を御願いたします。

最後に、この一年が市民の皆さまにとりまして、最良の年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

登別市長
小笠原春一



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、登別温泉開湯150年という記念すべき年であるとともに、洞爺湖サミットが開催され、登別にも米国大使の方々や中国の胡錦濤主席の来泉もあり、全世界から登別市が注目をされた年でありました。

わたしは、この記念すべき年の8月28日、市長に就任しましたが、今も職責の重さを実感する毎日であります。

昨今の国際経済の悪化により経済環境は厳しさを増しておりますが、このような時こそ、足元を固め、全国屈指の温泉観光都市として、潜在する登別のパワーを皆さんとともに掘り起こし、地域経済の力を高め、市民力を結集していきたいと考えております。

市の財政は、閉塞感が強いまま推移しておりますが、新年度予算で『明日のまちづくり特別枠』を設け、地域活性化や安全・安心なまちづくり、福祉政策に対して重点的に事業を推進していきたいと計画しております。

わたしは、市民の皆さまと、距離感ゼロの『和の心』をもってまちづくりを進めてまいりたいと思っております。

本年が市民の皆さまにとって、幸多き年であることを祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。